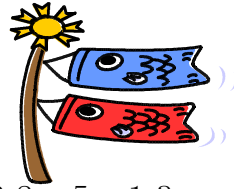


2年学年通信

第5号

2022.5.13



進路について考えよう



自分は将来どんな仕事に就きたいのか

将来の夢は何かと聞かれたときに、明確に即答できる人はまだまだ少ないと思います。好きなことや憧れはあるけれど、果たして自分がそこまでたどり着けるかどうか……。けれども、大多数の人が幼い頃憧れていた夢とは変わってきているのではないかと思います。それは、皆さんが成長したから。知識も増え、自分や社会に対する見方が現実的になり、未来への具体的な展望が頭の中で立ち上がりつつあるからです。

15年後の自分をイメージしてみましょう。自分はどこでどんな仕事に就いているでしょうか。自分の個性や興味、特技などが活かせる仕事に就き、充実した人生を送ってほしいと切に願っています。

さて、その仕事に就くためには、何か資格が必要でしょうか。中学校を卒業した後、どのような進路を選択すれば、その仕事に就くことができるのでしょうか。その進路を選択できる力を付けるためには、今、何をしなければならないのでしょうか。この部分の学習をこれから進めていきたいと思います。特に2年生では、様々な仕事についての知識を広げていく予定です。

高校入試について

中学校卒業後の進路としては、現在ほとんどの人が進学を選択しています。中でも、高等学校（高校）への進学が圧倒的多数を占めています。3年生になると、いろいろな高校について調べたり実際に行ってみたりして、自分の進路を具体的に絞っていくことになります。学力その他様々な条件を考慮しながら、卒業後の進路について自分で決定していくのです。

ただ、奈良県の公立高校に進学する（かもしれない人も含む）場合、調査書（いわゆる「内申」とよばれるもの）が合否判定の材料にされます。これは、2、3年生の成績をもとに作成されるもので、その意味では、もう入試が始まっていると考えられます。



調査書について

調査書には調査書点とその他中学校での活動内容が記載されます。調査書点とは、中学2年生の学年末の成績と、3年生1学期の成績と、3年生2学期の成績を合計したものです。

〈例；ある生徒の場合〉

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	保体	美術	技家	合計
2年生の学年末成績	3	4	3	5	2	3	4	5	3	32
3年生1学期の成績	4	3	3	5	2	3	4	4	3	31
3年生2学期の成績	5	3	3	4	3	3	4	5	4	34
										97

この人の調査書点は97点ということになります。原則として、入試当日の学力テストの成績にこの点数が加算され、合計点の多い者から順に合格とされますが、その際、調査書の「その他の記載事項」も考慮され、総合的に合否判定がなされます。調査書の点数と学力テストの点数の割合は高校によって異なります。

これからの学習の取り組みについて

1年生の成績が悪かったと後悔している人、成績の話が苦手な人、勉強の仕方がわからずにあせっている人。まだ間に合います。大丈夫。みなさんは、今、進路のスタートラインに立ったばかりです。自分の生活や学習への取り組みをしっかりと見つめ、自分が自分の希望する進路に向かっているかを確認するときです。自分自身から目を背けないことが大切です。

まず、自分の学力に関心を持ちましょう。どのような進路を選択するとしても、未来社会を生きていく上で、中学校で学ぶ基礎学力は絶対に必要です。その目安になるのが定期テストです。少し努力が必要な程度の目標を明確に設定しましょう。目標に届いても届かなくても、テストへの取り組み方を振り返ることが大切です。また、日々の授業には丁寧に取り組みましょう。課題は必ず期日までにやり遂げるようにしましょう。

次に、毎日の家庭学習の習慣を確立しましょう。入試の範囲は中学校の3年間分です。定期テスト前の1週間で終わる勉強方法では太刀打ちできません。毎日少しずつ積み重ねる練習を、今から始めましょう。することが見つからなければ、教科書を書き写すだけでも勉強になります。

最後に、一緒ががんばれる本当の友達を見つけてください。一人でがんばるのはなかなか大変ですが、励まし合ったり、ときには叱ってくれたりする友達がいれば、「あと一步」のがんばりが案外効くものです。ときに耳が痛いと感じる言葉も、相手が自分のことを思ってくれているという信頼関係があれば、受け入れられます。そんな友達関係を築いてほしいと願っています。

